

き だい しょう ものがたり よ
ルツ記 第1-4章から、ルツの 物語を 読んで
みましょう。この モアブ人の 女性は 眞の
かみさま しんこう あい はくく のちのち
神様への 信仰と 愛を 育み、後々には
イスラエルの 有名な 王様の
ひいおばあさんと
なりました。

びと びと じこく
ルツは ヘブル人ではなく、モアブ人でした。自国の
モアブに 住んでいた ヘブル人と 結婚したのですが、
ぎり ちちおや な ご かのじょ じしん おっと
義理の 父親が 亡くなり、その後 彼女自身の 夫と
ぎり おとうと な ぎり ははおや
義理の 弟まで 亡くなりました。義理の 母親だった
ナオミは、自分の 民がいる イスラエルに もどろうと
けっしん ぎり ははおや あい
決心します。ルツは 義理の 母親を 愛していたので、
いっしょに イスラエルへ 行くことに します。

ルツは ナオミに 言いました。「あなたの 行かれる
ところ わたしも いき、あなたの 住まれる 所に
わたしも 住みます。あなたの 民は わたしの 民、
あなたの 神は わたしの 神です。」¹



おうさま
わたし、王様の
ひいおばあちゃん
なのよ!

きゅうやくせいしょ で しんこう ひと
旧約聖書に 出てくる 信仰の人
ルツ

¹ (新改訳聖書、ルツ記 1:16)

ボアズ

ルツ



まず 貧しい やもめたちには 食べ物を買う お金が
なかったので、ルツが 麦の 刈り入れが されている
畑へ 行って、後に 落ちていた 少しの 麦を 拾い
集めました。ナオミの 親せきだった 裕福な ボアズは、
落ちていた 麦を 探すルツの 姿を見、彼女について
しもべに たずねます。ルツが 義理の 母親に 対して
親切だったことを 聞いた ボアズは 心を
動かされます。そして、後に ルツと
結婚したのでした。

オベデ



エッサイ



ボアズと ルツには、オベデという
息子が いました。オベデが 成長して
結婚すると、エッサイという 息子が
生まれました。エッサイには 8人の
息子が でき、末っ子の ダビデが、
後に ダビデ王と なりました。

こうして、ルツは 王様の
ひいおばあちゃんに なったのです！